



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場会社名 田辺工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1828 URL <https://www.tanabe-ind.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 四月朔日 義雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員管理部長 (氏名) 権守 勇一 TEL 025-545-6500  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	21,001	3.5	1,427	△2.1	1,464	△2.6	958	△5.6
2022年3月期第2四半期	20,299	20.9	1,457	32.8	1,502	31.3	1,015	47.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,217百万円 (17.3%) 2022年3月期第2四半期 1,038百万円 (59.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	89.62	—
2022年3月期第2四半期	94.93	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	38,177	20,219	53.0	1,889.48
2022年3月期	35,093	19,367	55.2	1,809.92

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 20,219百万円 2022年3月期 19,367百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	1.1	2,500	△11.2	2,600	△10.3	1,700	△9.2	158.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、(添付資料) 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	10,728,000株	2022年3月期	10,728,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	27,084株	2022年3月期	27,084株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	10,700,916株	2022年3月期2Q	10,700,916株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料) 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(追加情報) .....	7
3. 補足情報 .....	7
(参考資料) 受注の状況 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の対策がすすみ、社会経済活動が正常化に進む一方で、感染の波が繰り返し、いまだ収束の気配が見えない状況にあり、またウクライナ情勢に伴う、エネルギー価格や物価の高騰、原材料の供給制約、為替相場の変動など様々な要因により、景気は不透明な状況が続いております。

設備工事業界においては、公共投資は底堅さが増し、民間設備投資も持ち直しの動きが見られました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響や国際情勢により先行きが不透明な状況等から、お客様の投資判断は慎重な動きとなり、受注・価格競争は厳しい状況で推移しております。

このような状況下で、当社グループはお客様のニーズに合った設備の提案を積極的に行い、受注の確保・拡大に努めてまいりました。その結果、受注高は、当社グループの主要顧客である化学業界において半導体・EV材等の製造に関連する大型プラント建設工事、定期修繕工事等を中心とした受注があり、当社グループ全体では前年同四半期を上回り、27,809百万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。売上高は、国内においては新型コロナウイルス感染症による施工環境への影響は少なく、前連結会計年度からの繰越工事の進捗は概ね順調に推移し、21,001百万円（同3.5%増）と前年同四半期を上回る結果となりました。

利益面につきましては、売上高は増加したものの、低収益案件の売上計上等により売上総利益率が低下し、また販売費及び一般管理費が増加したこと等から、営業利益1,427百万円（同2.1%減）、経常利益1,464百万円（同2.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益958百万円（同5.6%減）とそれぞれ前年同四半期を下回りました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は38,177百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,083百万円増加しました。

#### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は28,353百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,083百万円増加しました。主に受取手形・完成工事未収入金等の増加によるものであります。

#### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は9,824百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少しました。

#### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は16,273百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,431百万円増加しました。主に短期借入金、未成工事受入金の増加によるものであります。

#### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は1,685百万円となり、前連結会計年度末に比べ199百万円減少しました。主に長期借入金の減少によるものです。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は20,219百万円となり、前連結会計年度末に比べ851百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の55.2%から53.0%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期を正確に見通すことが困難な状況であります。設備工事業、表面処理事業、その他の事業とも、受注高は現在まで概ね予定通り推移しており、2022年5月13日発表の業績予想（決算短信）の変更はありません。

（注）上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,124,250	4,184,878
受取手形・完成工事未収入金等	18,860,749	22,858,727
電子記録債権	501,066	461,082
未成工事支出金	61,240	84,364
その他の棚卸資産	511,544	562,656
その他	212,506	203,711
貸倒引当金	△1,882	△2,238
流動資産合計	25,269,475	28,353,181
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,318,792	7,406,880
機械、運搬具及び工具器具備品	5,190,539	5,507,783
土地	3,143,599	3,153,594
リース資産	361,671	361,037
建設仮勘定	193,064	345,044
減価償却累計額	△8,011,106	△8,478,564
有形固定資産合計	8,196,561	8,295,774
無形固定資産		
372,156		321,868
投資その他の資産		
投資有価証券	423,477	385,337
繰延税金資産	726,267	722,058
その他	106,044	99,179
投資その他の資産合計	1,255,790	1,206,574
固定資産合計	9,824,507	9,824,218
資産合計	35,093,983	38,177,400

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	5,981,565	5,012,896
電子記録債務	2,504,510	2,973,662
短期借入金	500,000	2,900,000
リース債務	41,361	41,800
未払金	1,558,172	1,436,680
未払費用	687,789	374,262
未払法人税等	537,370	524,315
未成工事受入金	614,340	2,020,523
完成工事補償引当金	40,328	22,526
工事損失引当金	22,150	3,260
賞与引当金	1,230,395	878,236
役員賞与引当金	60,000	25,000
その他	63,232	60,020
流動負債合計	13,841,217	16,273,184
固定負債		
長期借入金	600,000	400,000
リース債務	45,205	47,263
長期未払金	130,000	130,000
退職給付に係る負債	1,109,794	1,107,797
固定負債合計	1,885,000	1,685,061
負債合計	15,726,217	17,958,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,320	885,320
資本剰余金	1,475,320	1,475,320
利益剰余金	17,172,165	17,764,639
自己株式	△7,020	△7,020
株主資本合計	19,525,784	20,118,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60,413	28,185
為替換算調整勘定	△15,680	253,538
退職給付に係る調整累計額	△202,752	△180,828
その他の包括利益累計額合計	△158,019	100,895
純資産合計	19,367,765	20,219,154
負債純資産合計	35,093,983	38,177,400

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	20,299,756	21,001,583
売上原価	16,862,188	17,503,172
売上総利益	3,437,568	3,498,410
販売費及び一般管理費	1,979,963	2,070,780
営業利益	1,457,605	1,427,629
営業外収益		
受取利息	351	531
受取配当金	4,801	5,371
受取地代家賃	21,643	32,769
為替差益	3,356	2,356
その他	37,143	14,766
営業外収益合計	67,295	55,796
営業外費用		
支払利息	5,447	4,578
コミットメントフィー	13,660	5,536
支払補償費	—	6,327
その他	3,337	2,894
営業外費用合計	22,444	19,338
経常利益	1,502,456	1,464,087
特別利益		
固定資産売却益	246	391
特別利益合計	246	391
特別損失		
固定資産処分損	14,551	15,583
投資有価証券評価損	—	1,977
ゴルフ会員権評価損	2,349	—
特別損失合計	16,901	17,561
税金等調整前四半期純利益	1,485,801	1,446,918
法人税等	469,936	487,954
四半期純利益	1,015,865	958,963
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,015,865	958,963

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,015,865	958,963
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,751	△32,228
為替換算調整勘定	12,938	269,219
退職給付に係る調整額	22,392	21,924
その他の包括利益合計	22,580	258,915
四半期包括利益	1,038,445	1,217,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,038,445	1,217,878
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

前連結会計年度末の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

なお、当感染症拡大による影響は不確定要素が多く、今後の感染拡大の状況によっては当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

## 3. 補足情報

「参考資料」

受注の状況

(単位：千円)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	増減	増減率%
設備工事業 産業プラント設備工事	13,087,456	14,774,853	1,687,397	12.9%
設備保全工事	4,865,119	5,514,865	649,745	13.4%
電気計装工事	4,622,920	4,897,840	274,920	5.9%
送電工事	1,559,694	1,513,290	△46,404	△3.0%
管工事	993,572	493,950	△499,622	△50.3%
小計	25,128,763	27,194,799	2,066,036	8.2%
表面処理事業	535,878	540,549	4,671	0.9%
その他(鑄造用工業炉)	85,566	74,147	△11,419	△13.3%
合計	25,750,208	27,809,496	2,059,288	8.0%